



義足のダンサー森田かずよ氏を講師に地域創造学部・草山ゼミが協力 障害のある人もない人も一緒に踊ろう！ダンス公演

障害のある人もない人も集まり、ワークショップを通じて一からダンスを創作し公演を行う「森田かずよさんとみんなで作るダンス公演～障害のある人もない人もいっしょに踊ろう！」が、12月8日に茨木クリエイティブセンターで開催され、追手門学院大学（略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅正宏）地域創造学部・草山ゼミが公演の制作スタッフおよび演者として協力します。

このダンス公演は「障害のある人もない人も一緒に踊ろう」をテーマに障害の有無を問わず一般公募で集まった出演者約23人が、一からダンスを作り上げ披露するものです。講師は、東京2020パラリンピックの開会式でソロダンスを披露するなど「義足のダンサー・女優」としてメディア出演や演劇、創作活動を行う森田かずよ氏が務めます。

茨木市文化振興財団の主催で今年4年目を迎え、2023年からは文化庁も主催に加わり、追手門学院大学地域創造学部の草山太郎准教授と同准教授のもとで共生社会のあり方を学ぶ学生、茨木市立障害福祉センター、茨木障害フォーラムが協力しています。

9月より23人の出演者が集まり、森田氏の指導の下、全12回のワークショップを開催。お互いの身体や表現の違いを感じあいながら、メンバーの個性や自然な体の動き、直感やひらめきを活かしてオリジナルのダンスを創作しました。今年は誰もがアクセスできる多様性と自由な活動の場を象徴する「公園」に着想を得て「公園（パーク）でルンバ～おしゃべりな身体と踊るひととき」と題した作品を披露します。また、衣装は茨木クリエイティブセンターで活動を行う市民サークルの「ibabun 手芸部」に製作いただくなど、地域市民の輪も広がっています。

公演当日は、森田かずよさんのソロダンスやユニークな方法で他者と関わることを「アート」と捉え、音楽や言葉を手立てに、全国の市街地、福祉施設、学校、復興団地などで文化活動を手掛けてきたアーティストで文筆家のアサダワタル氏の基調講演も行われます。



みんなでつくるダンス公演

【概要・観覧募集】

日時：2024年12月8日（日）13時30分開場、14時00分開演

会場：茨木クリエイティブセンター センターホール（大阪府茨木市駅前四丁目6番16号）

参加費：500円（中学生以下無料）

申込：公益財団法人 茨木市文化振興財団のホームページから予約

<https://www.ibabun.jp/event/20241208/>

問い合わせ先：（公財）茨木市文化振興財団 TEL 072-625-3055

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 仲西・織田